

ご注文の際、プライス・コードもご記入下さい。
プライス・コード{a ¥ 1 6 9 0 / A ¥ 1 8 9 0 / B ¥ 2 0 9 0 / C ¥ 2 2 5 0 / D ¥ 2 4 9 0}
(表示価格は税抜き) 別途消費税が加算されます

www.tambourine-japan.com email: song@tambourine-japan.com

注文方法サイト: <http://www.oct-net.ne.jp/tambouri/order.htm>

Scotland(P4) USA{Old Time 他}(P23) CANADA{Trad 他}(P27)

[CD/ISLE OF MAN]

- *BARRULE: Barrule C
(副題“Music From The Isle Of Man”。収録時 19 歳の Tomas Callister {フィドル、バズン、ヴォー}, Jamie Smith {ヴォーカル、アコーディオン、ギター}, Adam Rhodes {ブラス、ヴォーカル} の若者トリオはマン島のトラッドに果敢に挑む。Jamie の毅然として悠々としたシンギングの素晴らしさもさることながら、フィドルとアコーディオンの演奏の緻密さと大胆さ、その二台をメインに据えた演奏の構成の見事さは天下一品。2012 作。Wardfell)

[CD/WALES]

- *ALLAN YN Y FAN: NEWID A
(Catrin O' Neill なる女性トラッド・シンガーとフィドル弾きの Alan Cooper を新メンバーに迎えた新生 Allan Yn Y Fan の新作。Allan Yn Y Fan 自体の音楽は、70 年代のブリティッシュ・トラッド風な土臭いトラッドで昨今のハイセンスなケルティックなトラッドとは一線を画した大御所トラッドの風合いで、Catrin の庭の花々に優美なシンギングにお似合いのサウンドで、Catrin のシンギングも素敵に生えている。本作でのラインナップは三姫三太郎の六人組。2016 作。Steam Pie)
- *JULIE MURPHY: Every Bird That Flies A
(元 Fernhill のヴォーカルの J. Murphy の四枚目。ウエールズのカントリーサイドの自宅でピアノの引き語りで作曲をしたという自作曲 6 曲と伝統歌 3 曲の計 9 曲。ピアノの引き語りを中心に制作された本作は、そのまま自宅で弾き語りしているような落ち着いた中で、Julie の一筋の線を描くような、あるいは清い水の流れるようなシンギングは清々しく、深く、美しい。2016 作。Shells In The Ocean)
- *FERNHILL: Llatai (1998 作。Beautiful Jo) B
- *FERNHILL: Whilia (2000 作。Beautiful Jo) B
- *GWENAN GIBBARD: Y Gorwel Porffor A
(ウエールズ語を話す家庭で育ったという全曲ウエールズ語による Gwenan Gibbard の新作はハープの弾き語りによる 6 曲収録 CD。6 曲中 3 曲が伝統曲だが、彼女のハープの弾き語りには、伝統音楽一途というよりは、伝統音楽が子守歌のように真に身近な音楽として身につけていて、ウエールズ語の優しい響きのシンギングもハープの音色の真に優しい。すっかり春の花園で夢見気分保証。2015 作。Sain)
- *GWENAN GIBBARD: Y Gwenith Gwynnaf B
(ハープの小気味よい響きと Gwenan の美しく澄んだシンギングが作り出

- す世界は彼女独特な幽玄の世界。w. Maartin Allcock, Huw Roberts, Stephen Rees, Dafydd Roberts, Deian Elfryn. 2006 作。Sain)
- *FFYNNON: Adar Gwylltion (二枚目。2006 作。Taith) B
- *CARREG LAFAR: Ysbryd y Werin (1995 作。Sain) B
- *CALENNIG: Trade Winds – Gwyntoedo Mor Hafren B
(副題“Stories Of The Seven Sea”。1994 作。Sain)
- *NANSI RICHARDS: Brenhines y Delyn B
(副題。“Queen Of The Welsh Harp”。歴史的な録音集。44 トラック。Sain)
- *LLIO RHYDDERCH: Malangell (2000 作。Fflach:tradd)
- *MABON: OK Pewter B
(アコ奏者の Jamie Smith のアコガリター格のアコースティック&エレクトリック混在の抜群のりのケルティック・ミュージック。Jamie のアコの演奏はエレキッシュな演奏も聴き物だが、数少ないスローな曲での泣き節も聴きもの。体当たりの演奏でほとぼしる情感が凄い魅力。Mabon)
- *SIAN JAMES: Gweini Tymor (96 作。Sain) B
- *SIAN JAMES: Di-Gwsq (97 作。Sain) B
- *LLEUWEN: Penmon B
(ウェルズの異色の SSW、Lleuwen 嬢の 2007 作。ウェルズ語の唄による夢心地な唄&音楽世界を創作。w. Huw Warren, Thad Kelly, etc. 2007 作。Gwymon)
- *LINDA GRIFFITH: Storm Nos B
(ウェルズはモンゴメリー・シガーのトラッド・シガーの本作は、全曲ウェルズ語で、ウェルズの伝統歌への愛情や家族への愛情が、Linda のたおやかなシンギングで心に深く響くもの。Linda の二人の愛娘の Lisa Angharad と Gwenno Elan Healy が美しいハーモニーを添えている。w. Gwenan Gibbard, Chris Leslie, Maartin Allcock, etc. 2009 作。Sain)
- *SILD: Tro A
(エストニア人でヴォーカルと Hiiu-Kandleid というエストニアのフォドル系楽器奏者の Silje Ilves とギター&ハーモニカの Martin Leamon のウェルズで活動する二人組の Sild の本作は 2 枚目。ウェルズとエストニアの伝統歌だが、Silje の野趣な味わいを秘めた軽快で美しいシンギングとスクワットは絶品。トラッド・ファン必聴。2008 作。Fflach)
- *THE DEVIL'S VIOLIN a
(副題“Roma Gypsy Music And Tales From Wales And Beyond”。アコ、ヴァイオリン、チェロによるマケドニア〜ルーマニア〜ロシアのジプシー音楽とジプシー音楽を伴奏にした北ウェルズに伝わるジプシーの二つの物語。この二つの物語は Daniel Morden's Award という賞受賞の本“Dark Tales From The Wood”からの物語。不思議なお話は Daniel Morden 本人。2007 作。Taith)
- *BRAGOD: Kaingk B
(ウェルズの 14~19 世紀の詩と音楽、イギリスの 6~7 世紀の詩集“The Book of Aneirin”からの歌と音楽そしてウェルズの 12 世紀のドラマ。Mary-Anne Roberts というシガーの喉歌化する呪術的ヴォーカルは異空間へと運ぶしウェルズのヴァイオリン系古楽器の Crwth {クルス} とリラの伴奏と演奏は土俗的であり「異空間」度を増す。アワブやアビア的な匂いを

醸す古きウェルズ[°]のケルト音楽だ。P106の解説本付。CD-ROM機能付でシガ[°]-と奏者の生演奏が捧める。2004作。Bragod)

- *ROBIN JAMES-JONES:Telynegion B
(Nanci Richards等にハープ[°]を教わったというウェルシュ・ハープ[°]奏者によるウェルズ[°]のトラッド[°]からアイルランド[°]、スコットランド[°]、アメリカのトラッド[°]そしてガ[°]-シュインの“Summertime”まで。フォーク系ハープ[°]奏者の中では装飾の多いいわゆる一般にイメージされるハープ[°]音楽風。ハープ[°]による美しいケルト音楽・ファン向き。全15曲夢心地。2004作。Sain)
- *ROBIN HUW BOWEN:Hen Aelwyd - Old Hearth B
(副題“Welsh Music On The Triple Harp To Fire The Soul”。ウエールズのトリプル・ハープ[°]のソロ。1999作。Sain)
- *WILD WELSH WOMEN:Death Of The King's Canary B
(5人組の「野性ウェルズ[°]女達」はTamzin&Roziの入魂のガ[°]ォーカをメインに据えたトラッド[°]・バンド[°]。音楽性はエレガントなのから荒武者フォーク・ロックまで激流的。気概溢れる二人の女性のシギ[°]ング[°]の見事さに言葉なし。2003作。Airheart)
- *ARFON GWILYM:Proc i'r Tan B
(この中年トラッド[°]・シガ[°]-は素晴らしい。Arfonの温厚なシギ[°]ング[°]とワトなウェルズ[°]語の響き、かつ主にハープ[°]の伴奏によるシギ[°]ング[°]はビールを片手に鼓舞するような朗々としたシギ[°]ング[°]をも柔和というか優雅な芳香を放つ。ウェルズ[°]の伝承歌を愛するAfronの極上のトラッド[°]・アルバム。英語解説&曲目解説付。2003作。Sain)
- *PHIL TANNER:The Gower Nightingale D
(副題“Ballads, Songs&Mouth Music from South Glamorgan recorded in the 1930s&40s”。1930年代に見出された南ウェルズ[°]出身の偉大なトラッド[°]・シガ[°]-のP. Tannerの1937年のBBC録音曲等を含む貴重録音集。2003作。Veteran)
- *BOB DELYN a'r EBILLION:Dore B
(耽美的と言うべきか、女性シガ[°]-のTwm Morysの美味シギ[°]ング[°]やハープ[°]伴奏の素朴な哀愁のフォークから入魂のフォーク・ロックそしてバルカン?アラブ?風味をも取り込んだ暗黒ロックまでレンジの広さは北欧トラッド[°]・バンド[°]をホ[°]ツさせる。2003作。Sain)
- *RAG FOUNDATION:Minka ¥1000
(特価。Rag FoundationはNeil Woollard{ガ[°]ォーカ}, Kate Woollard {ガ[°]ォーカ、フイドル}, Richard Cowell {ギター}のトリオ。w. Nigel Eaton, Julie Murphy, Ceri Rhys Matthews, Andy Cutting。唄は英語とウェルズ[°]語。99作。Fflach)
- *CERI RHYS MATTHEWS・JONATHAN SHORLAND:Pibau C
(副題“Welsh Bagpipe Music”。CeriはFarnhill。99作。Fflach)
- *SIAN PHILLIPS:Gramundus C
(副題“Traditional Welsh Fiddle Music”。98作。Fflach)
- *OGAM:O Gam I Gam A
(女性2名、男性3名の5人組ウェルシュ・トラッド[°]・グループ[°]。11曲中8曲がトラッド[°]曲。彼等のトラッド[°]へのア[°]ローチの仕方は、クラシック寄り。2000作。Sain)

[CD/CORNWALL]

*NIGEL (An Gwer) ROBERTS & FRIENDS: Just Is A
(Nigel Roberts {通称 An Gwer} は自称「ケルトの吟遊詩人」。彼自身は
ダブリン、ハープ、フィドル、マンドリン、バウロン等を演奏し、飄々とストーリー性
のある唄をうたう。印象はずばり、Robin Williamson&His Merry
Band。初めて聴いたとき、彼の自在錯誤の音楽に「今時、うそでし
よう！」というのが正直な感想。彼の仲間との音楽 [楽器はハーディ
ギター、スモールパイプス、ホイッスル、リコーダー、バンジョー、ベース、ジャンベ、トラン
ペット、クラリネット等+女性ヴォーカル] は、まるで中世の広場でうたい、踊り、
演奏する楽士。70年代に帰った気分。本作は薄型ケースのCDR製で、ジ
ャケットは簡素。裏ジャケットはない。2004年と2006年の録音。An Gwer)

[CD/ENGLAND/SCOTLAND]

*MICK GROVES: Fellow Journeyman B
(副題“The Songs of Ewan MacColl”。20曲中16曲がEwan {Iwan}
MacCollの曲。白髪でウエスタン・フォーク・シンガーの風貌のM. Grovesによる
朗々たるフォーク・ソング。Produced by Phil Beer。2004作。EXEG1)

[LP/SCOTLAND]

*DICK GAUGHAN: Handful Of Earth C
(不朽の名盤。LP。81/2009作。オランダ 6spices)

[DVD/SCOTLAND] PAL

※パソコン又はPAL方式再生可能DVDプレーヤー/で再生可能

*BARBARA DICKSON: Che Faro D
(1986年のBarabara Dicksonのテレビ番組のDVD。ライブを中心に子
どもの頃から80年代までの音楽人生を語るドキュメンタリー・フ
ィルム。ライブは“The Caravan Song”, “Boulder To Birmingham”,
MacCrimmon’s Lament”, “Easy Terms”, “Nana”, “Che Faro”など。
50分。2012作。BARB1DVD)

*DONNIE MUNRO: Field Of The Young D
(CD“Field of the Young”の映像版に二つのコンサート・ライブ映像が収
録。約2時間。2004作。Hypertension)

[DVD/SCOTLAND] NTSC all regions

※国内製DVDプレーヤーで再生可能

*IVAN DREVER&DUNCAN CHISHOLM: A Long December Night ¥1500
(Duncanの自宅で収録された本作は北スコットランドの12月の長い夜、静
かだが、二人のスピリットに充ちた唄と音楽がとめどなく流れる。スコ
ットランド・ファン宝物。2004作。Highlander Music)

[CD+DVD/SCOTLAND]

※国内製DVDプレーヤーで再生可能

*ALISON KINNAIRD: The Silver String D
(CDとDVDのセット。本作を聴いて驚くのは金属弦とガット弦の小型ハープ
でスコットランドの古いパイプ・チューンやラメント等を当時のハープの音色を再現
するかのよう古風かつ優美かつ気品ある音色を創造しているこ

と。もうそれは魂の響きとしか言いようもないハーフの音色。ゲスト：Christine Primrose, Ann&Charlie Heymann, Robin Morton。DVDはガラス工芸品の製作フィルムとライブ演奏2曲とインタビュー等。2004作。Temple)

[CD/SCOTLAND]

- *IONA FYFE: Away From My Window B
(2017年、二十歳の時に“Scots Singer of the Year”賞ノミネートというから、録音時20か21歳だろうか。この若き歌姫、地元アバディーンシャーのトラッド・シンガーに彼らのレパートリーを習ったり、多くの時をバラッドなどの伝承歌の研究に費やしたという。Ionaのシンギングは胸がキュンとするほど、清々しく初々しく、切ない。そのシンギングの魅力の根源には、Ionaの伝統歌への深い理解と愛情があつての若いなりの感情移入があるのだろうと、聴き惚れながら思ってしまう。トラッドの素朴な美しいメロディに身を寄せるようにシンギングするIonaのシンギングは、実に美しく愛らしい。14人もの、ほとんど無名のミュージシャンがゲスト参加しているのだが、鮮鋭なスコティッシュ・サウンドを創作をしていて、「演奏家の層が厚いなあ」と驚かされる。多くの唄は「誰々のシンギングから学んだ」と書き添えられている。2018作。Cairnie)
- *SALT HOUSE: Undersong C
(女性シンガーがSiobhan MillerからJenny Sturgeonに替わったスコティッシュ・フォーク・グループ“Salt House”の二作目。新生Salt Houseのラインナップは新メンバーのJenny [ヴォーカル、ギター他]にEwan MacPherson [ヴォーカル、6&12弦ギター他]とLauren MacColl [フィドル、ヴァイオリン、バックグヴォーカル]の旧メンバーの三人。Kate Rusby風な感觸のシンギングを披露するJennyの加入と、彼女のシンギングをフィーチャーした音楽作りは、音楽性の統一感とスコティッシュ・フォーク&トラッドとしての音楽の質を最高に高めていて、釘付けになる。Ewanも押しも押されぬ素晴らしいシンガーなのだが、本作ではどちらかと言えば、Jennyの引き立て役。シンギングも音楽も非の打ち所のない素晴らしさ。2017作。Make Believe)
- *DOUGIE MacLEAN: A Robert Burns Selection ¥2390
(1982年の“Craigie Dhu”から1曲、1988年の“Real Estate”から1曲、1991年の“Indigenous”から2曲、1995年の“Tribute”から6曲そして新録曲1曲“Heiland Harry”を加えた全11曲収録のRobert Burnsソング集。2018作。Dunkeld)
- *ALEX CAMPBELL, ALAN ROBERTS, DOUGIE MacLEAN: CRM C
(Dougie MacLeanファンの宝物。1979年作。Osmosys)
- *CHRIS STOUT & FINLAY MacDONALD: The Cauld Wind A
(Chris&Finlayは伝統性に重きを置きつつ、産み落とされた音楽は革新的で典雅で高潔。音楽のすべてのレベルが高く、魅力的。フィドルとバグパイプの組み合わせによる新たな魅力的なスコティッシュ・ミュージックを創作している。わくわくしっぱなし。2013作。Chris Stout Music)

- *TMSA YOUNG TRAD TOUR 2016 B
 (BBC Radio Scotland の 2016 年の“Young Traditional Musician of the Year”賞に選ばれた若手ミュージシャン達～Mohsen Amini {優勝者でコンサーティナ}, Ryan Young {フイドル}, Hannah MacRae {フイドル}, Jessica Burton {クラリネット}, Murray Willis {アコ}, Robbie Greig {フイドル} に 2015 年の優勝者で、Top Floor Taivers のメンバーでシンガーの Claire Hastings を加えた七人+ギターの Jean Damei による演奏。即席のスコティッシュ・トラッドのグループだが、若手最高の女性トラッド・シンガーをヴォーカルに据えてかつ、各ミュージシャンがスコティッシュ・トラッドの香り高い演奏を一途に演奏していて、そのフレッシュさが気持ち良い。2017 作。TMSA)
- *LAUREN MacCOLL: The Seer B
 (スコットランド屈指のフィドル奏者の Lauren MacColl の本作は、17 世紀に生きたとされるスコットランドの予言者ブラハン・シーアの人生と予言に Lauren がインスパイヤーされて創ったもの。Lauren は子どもの頃に本で読んで抱いた不思議さをそのままスコティッシュ・トラッドのスタイルで、かつピリピリっとスピリットが高く、精霊たちが棲む不思議な森に分け入るような不思議な音楽を創作していて、ゾクゾクっと奥が深い。共演者は Rachel Newton {ヴォーカル、ハープ、ウイロー} に加え、Mairearad Green {アコ、ボーダーパイプス}, Megan Henderson {フイドル、ピアノ、ヴォーカル}, James Mackintosh {パーカッション}, Anna Massie {ギター、マンドリン}。2017 作。Fais Rois)
- *CALUM STEWART: Tales From The North C
 (Mánran や Mabon や Burrule などのアルバムでゲスト参加していたスコットランドのイリアンパイプス、フルート、ホイッスル奏者の Calum Stewart のソロ。ソロ名義だが、バンド演奏のスタイルを取っていて、主にイリアンパイプスをフィーチャーした音楽は、彼自身の心の中の北スコットランドの歴史や伝説や風景をイメージして作った自作曲やスコティッシュやアイリッシュやシェットランドなどを汎ケルティック・トラッド的に勢いのある音楽を創作していて圧巻。メンバーは、Lauren MacColl, Eamon Doorley, Gilles Le Bigot, Adam Rhodes, Ronan Pellen, Yann Le Bozec, James Alexander, Tony Byrne, Adam Brown, Ross Saunders。2017 作。Colum Stewart)
- *MANRAN: Mánran B
 (Mánran デビュー作。2011 作。Mánran)
- *RACHEL WALKER: Fon Reul ~ Sholus (お宝。2006 作。Skipinnish) D
- *OLD BLIND DOGS: Room With A View B
 (オリジナル・メンバーは Jonny Hardie {フイドル、ヴォーカル} のみとなった Old Blind Dogs の結成 25 周年記念アルバム。メンバーは、J. Hardie に Aaron Jones {ヴォーカル、ブズーキ他}, Ali Hutton {バグパイプ、ホイッスル、ヴォーカル}, Donald Hay {パーカッション、ヴォーカル}。数々の名盤を世に送り出してきた Old Blind Dogs の名に恥じぬ横綱級スコティッシュ・トラッド。2017 作。OBDmusic)

*OLD BLIND DOGS:Close to The Bone(93 作。Lochshore) B

*FARA:Cross The Line B

(人気飛び切りのオークニー島出身の女性四人組。メンバーは Twelfth Day の Catriona Price {フイドル、ヴァイオリン、ヴォーカル}, Jeana Leslie & Siobhan Miller の Jeana Leslie {フイドル、ヴァイオリン、ヴォーカル}, Blazin' Fiddle の Kristan Harvey {フイドル、ヴァイオリン、ヴォーカル} それにピアノ名手の Jennifer Austin {ピアノ、ヴォーカル} の四姫。ギャルのセンスがまぶしいキャピキャピの演奏と、これまたギャルのセンスならではの胸キュンな演奏、加えて歌心あるトラッド・シンガーならではの、清楚で心に沁みる美しいシンギング。どれもがまぶしい。2017 作。GPL-Music)

*NUA:Head Full Of Dreams A

(ご存じ Nua は二姫二太郎の世界トップ・クラスのケルティック・バンド。四名の内三名がドイツ人で、残りの一人がオークニー島出身の Catriona Price。Catriona と、もう一人 Michaela Grus の二人の歌姫のシンギングは今が旬なシンギングで胸キュン。曲目はアイリッシュとスコティッシュとオリジナル曲で、ケルティックな風合いとノリの良さは抜群。Catriona Price の活躍はここから始まった。Beoga の Niamh Dunne が賛辞を寄せている。2013 作。Liekedeller)

*TWELEFTH DAY:The Devil Makes Three A

(オークニー島出身の歌姫でフィドル弾きの Catriona Price と各種ハーブ弾きでシンガーの Esther Swift の女性の二人組のとびっきりの本作。Catriona のフィドルはスコティッシュな、若々しく自在なとびっきりの演奏で魅了する。相方の Esthe のハーブは、Catriona の演奏に感応するようにハーブを爪弾き、音楽を彩り、Catriona の演奏と一緒に舞い踊る。若々しいスコティッシュ・サウンドに彩られた二人のシンギングは、まるで花園の色とりどりな花。2014 作。Orange Feather)

*THE CAMPBELL OF GREEPE:No. 2 Greepe B

(Kenna Campbell, Seamus Campbell, Mary Ann Kennedy, Wilma Kennedy, Maggie Macdonald の五人組の伝統音楽一家 [Kenna と Seumas 夫妻の娘が Mary Ann と Wilma で Wilma の姪が Maggie。Kenna は 1959 年の National Mod の優勝者] によるスコットランド・ゲール語の屈指のシンギング・アルバム。驚くのは Kenna&Seamus 老夫婦のかくしゃくとしたシンギングの見事さ。娘達の清いシンギングとの微妙な声の違いから生み出される彩と綾が何とも力強くも優しく美しい。曲目にはない 14 曲目には Kenna の素朴なシンギングが収められていて、感動。スコティッシュ・トラッドの名盤。2014 作。Watercolour Music)

*LITHA:Dancing Of The Light A

(メンバーは、Aaron Jones {ヴォーカル、ベース、ギター}, Claire Mann {フルート、ホイッスル、ヴォーカル}, Gudrun Walther {ヴォーカル、フイドル、アコ}, Jurgen Treyz {ギター、ドブフロ、ヴォーカル} のスコットランドとドイツのピカールの組み合わせ。曲目はアイリッシュが半数近くで、バランスの取れた演奏とシンギングは、アイリッシュをベースにしつつ、音楽

- をさらにハイレベルな域にまで高めている。2011 作。Arte)
- *DAVE BURLAND, TONY CAPSTICK, DICK GAUGHAN
:Songs Of Ewan MacColl(お宝。1996 作。Black Crow) ¥2790
 - *GEORGE JACKSON & MAGGIE MacINNES:Cairistina ¥2790
(1984 作。Iona)
 - *THE COMPLETE SONGS OF ROBERT BURNS Volume 7 B
(Karine Polwart, Bobby Eaglesham, George Duff ほか。1999 作。
Linn)
 - *THE COMPLETE SONGS OF ROBERT BURNS VOL. 8(1999 作。Linn) B
 - *KARINE POLWART:This Earthly Spell(2008 作。Hegri Music) A
 - *JENNA CUMMING:Taladh - Gaelic Lullabies B
(収録曲 13 曲全曲スコットランドのゲール語の子守歌。そのほとん
どは古謡で無伴奏。不思議なことに、Jenna のシンギングは全くと
言ってよいほど無伴奏であることを忘れさせる美しさ。その美し
さは言葉では表現出来ない母親がわが子を思うような深い美し
さ。数曲オルゴールや古いハープの響きのような伴奏を伴った子
守歌が収められていて、すっかり和んでしまう。静かな空気感の
中で響きわたるゲール語の唄の響きとともに夢の中。2017 作。
Clann Sona[「幸運な子ども達」の意])
 - *BARBARA DYMOCK:Hilbert's Hotel B
(2011 年の一枚目。“Billy Taylor”, “The Unquiet Grave”ほか全 15
曲。Barabara Dymock)
 - *CALM AND RORY MacDONALD:The Band From Rockall C
(Runrig の創設メンバーの Calm&Rory 兄弟の本作は、感涙のスコテ
ィッシュ・フォーク・ロック。ロックやポップスに熱狂した青春時
代に想いを馳せた心からの唄とロックはどこか懐かしくって、あ
ったかい。2012 作。Ridge)
 - *DONNIE MUNRO:Sweet Surrender - Live Acoustic D
(元 Runrig のフロントマンの Donnie Munro のライヴ 二枚組。Donnie は 2014 年
に Eric Cloughley [ギター、バックিং・ヴォーカル], Maggie Adamson [フィド
ル] とアコースティック・トリオを結成。本作はそのトリオで行ったコンサートのライヴ
盤。僕などは Donnie Munro=Runrig のイメージがあるが、本作を聴く
と、そのまま Runrig のアコースティック版として、馴染んでしまう。彼の唄
はそのまま「スコットランドの声」として優しく、パワフル。アコースティックだ
が、唄も音楽も熱い。そして感観客も。全 19トラック。2015 作。
Hypertension)
 - *RUNRIG:The Essential A
(1981 年～1996 年収録の音源からの 16トラック収録の編集 CD。偉大なスコ
ィッシュ・ロック・バンドですな。2007 作。Capitol)
 - *RUNRIG:In Search Of Angels(99 作。Columbia) A
 - *SHOOGLENFIFTY:Radical Mestizo(Shoogle) C
 - *SHOOGLENFIFTY:Roots(2007 作。Shoogle) C
 - *ALISTAIR RUSSELL:A19 B
(元 Battlefield のシンガーでギター奏者の Alistair の 2002 年作。
Dave Burland, Karine Polwart, Maartin Allcock, John McCusker,
John Martin, Kieran Halpin, Chris Sherburn 等の心からのパッ

クアッパで、伝統歌を中心に Andy Irvine や Archie Fisher 等の曲を滋味豊かにうたう。秋の夜長の良き友。2002 作。Glade)

*ALISTAIR RUSSELL & CHRIS PARKINSON

: A Glass And A Mile B

(元 Battlefield Band のシンガーでギター奏者の A. Russell とアイルランドの Mayo をルーツとするアコ奏者の C. Parkinson による二枚目。大半はアイリッシュ。Alistair は父親から多くのアイリッシュ・ソングを聞かされたという。Alistair の唄は Battlefield Band の流れを引く印象だが、その流れの中でも愁いのある曲ばかりをうたっていて、何やら「心の唄」的な内容で、聴いていて、懐かしい気分になってしまう。2013 作。Glade)

*BATTLEFIELD BAND: Happy Daze A

(Karine Polwart, John McCusker, Alan Reid, Mike Katz がメンバーの最強 Battlefield の 2001 年作。Temple)

*BATTLEFIELD BAND: Dookin' A

(彼等らしいエキサイティングな演奏と Alan のお涙頂戴のシンギングで泣き笑いさせる。「一曲一曲が琴線に触れる演奏と唄」と簡単には片付けられない感動的な音楽。2007 作。Temple)

*UP IN THE AIR: Moonshine A

(Up In The Air は、Old Blind Dogs の創設メンバーの二人の Jonny Hardie {フイドル、ギター、ヴォーカル} と Davy Cattanach {ハーモニカ、ギター、ヴォーカル} に Iron Horse の Gavin Marwick {フイドル} のスーパー・トリオによる 2012 年のアルバム。スコティッシュ臭の強い Dave のシンギングが素晴らしく、全体として Old Blind Dogs 的なスコティッシュをベースに自在な音楽を創作していて素晴らしい。

Up In The Air)

*CHERRY GROVE: No Time Like Now A

(若き女性四名 = Marianne Fraser {ヴォーカル、ギター}, Mhairi Mackinnon {フイドル、ヴォーカル}, Sarah MacNeil {ハーブ、ヴォーカル}, Heather Shelley {ピアノ、ヴォーカル} + 男性 = Grant McFarlane {アコ、ヴォーカル} 一名のエキサイティングなスコティッシュ・トラッド・バンドの爽快デビュー作。彼女たちは若い女性ならではの可憐かつ萌え立つセンスを活かして、今日的感覚のグルーヴィーなケルティック・ミュージックを軽やかに創作しきっている。加えて Marianne 唄はフォーク系シンガーとして最高に魅力的。2014 作。Cherrygrove)

*MAGGIE MacINNES: Spiorad Beatha B

(自身のハーブ又はピアノの弾き語りによるガールック・ソングの美しさと気高さは流石。w. Flora MacNeil, Keith Easdale, Graeme Hughes, Marie Felding, Brian McAlpine, Charlie McKerron, etc. ゲール語原詩&英訳付。2001 作。Marram)

*ESME'S ADVENTURE "The Girl With The Purple Harp" B

(本作は 11 歳の時に脳腫瘍を患い、2013 年に 18 歳の若さで亡くなった女性ハーブ奏者の Esme Morris Macintyre に、スコットランドのハーブ奏者達が Esme のために作曲し、捧げたアルバム。伝統曲は "The Arran Boat" の一曲のみ。演奏家は、Sileas が二曲演奏している以外は、ハーブ奏者或いはグループが一曲ずつ演奏。収録曲は全部で 14 曲。演

奏者は異なるが、曲調が主にスコティッシュ風の曲作りなのと、ほとんどの演奏が控えめで、石清水のように澄んだ音色の響きを放っていて、不思議なことにアルバムとしての統一感が感じられる。本CDの売り上げの全額は英国の「Teenage Cancer Trust」というNPOに寄付される。P16のブックレットには元気な頃のEsmeの写真がいっぱい。
2015作。Teenage Cancer Trust)

*CRUINN:Cruinn C

(スコットランドを代表するトラッド・シンガー4名[Rachel Walker, Fiona Mackenzie, James GrahamそしてBrian O hEadhra]から成るCruinnの一枚目。トラッド・シンギング・アルバムの傑作。2013作。Cruinn)

*CHRIS SHERBURN & FINDLAY NAPIER

:Two Men On A Boat C

(スコットランドのトラッド・グループ“Back Of The Moon”のシンガーでギター奏者のF. Napierと英国のトラッド・グループ“Last Night's Fun”のコンサート奏者のC. Sherburnのデュオアルバム。C. Sherburnは伴奏に徹していて、実質的にヴォーカルのFindlayのソロアルバム的だが、これが抜群に良い。Dick Gaughanの“Live In Edinburgh”, Nic Jonesの“Penguin Eggs”等を二人共通の“Great Album”とし、本作を制作した二人だが、Findlayのスコティッシュなまりのヴォーカルは、柔らかくも毅然とした孤高感があって、心に響く。ブリティッシュ・トラッド/フォーク・アルバムの名盤。
2014作。Lister)

*EWAN McLENNAN:Rags & Robes B

(E. McLennanの心にしみる名盤。w. Jackie Oates, Peter Tickell。
2010作。Fellside)

*KATIE McNALLY:Flourish A

(Long Time Courtingの女性フィドラーKatieのソロ。米国でスコティッシュ・フィドルを習得し、仕上げでスコットランドに渡って習得したKatieの演奏は米国人だからこそか、スコティッシュ・スタイルのフィドルの魅力を感覚的にかつ実践的に熟知していて、メチャ最高! 2012作。Katie McNally)

*AALD NOOST B

(棚で発見した貴重なシットランドの音楽。収録年は1994年。本作の発案者はピアニストのViolet Tullochアコーディオン奏者のIain MacPhail。二人は音楽仲間[フィドルのRonnie Jamieson、アコーディオン奏者のBrian Morrison、ベースのCecil Hughson、Douglas Johnstone]を誘って、シットランドの伝統音楽のスタイルに則った音楽を自分たちのアレンジで演奏したのが本作。ケリー・ハント・スタイルのシットランド音楽は、シットランドでは当時としてはニュー・ウェイヴだったのだろう。ダンスの風景が目に浮かぶダンス曲の数々。短い曲解説に一曲一曲への思い入れが端的に綴られていて、演奏者の「曲の好きさ」がよくわかる。録音はオクニ諸島。在庫数枚。Attic)

*FIONA DAVIDSON:The Language Of Birds C

(1998年リリースのケルティック・ハープの弾き語り。9曲中6曲がStorytelling、つまり「語り」で、3曲が唄。Fionaはハープを爪弾き、語りと唄で、古代吟遊詩人の神秘的な語り部の世界、ケルトの伝説の世界へと誘う。

1998 作。Watercolour)

- *ALY BAIN, ALE MOLLER, BRUCE MOLSKY: Meeting Point C
("Live At The Liverpool Philharmonic". Aly Bain と Ale Moller にオールド・タイム・フイドルでシガーの Bruce Molsky が加わったトリオでのライヴ。Aly Bain のフイドルをフィーチャーしたシエラントの曲では Ale がマンﾄﾞラが気品のある彩りを添え、Bruce のヴォーカルとフイドルをフィーチャーした米国のトラッドでは Ale がマンﾄﾞラが気品のある彩りを添え、二人の民俗色豊かな音楽をシェイプアップし、Ale のマンﾄﾞラをフィーチャーした北欧の曲では二人のヴォーケラン・フイドルは北欧スタイルのフイドルで遊び、その遊びの後には本来の自身のスタイルのフイドルで遊んだり、シエラントとスウェーデンと米国のトラッドの演奏名人の三人による最高に美味しいミックス・ジュース音楽。2013 作。Whirlie)
- *ALY BAIN & ALE MOLLER: Beyond The Stacks C
(シエラントのフイドル曲を中心に数曲のスウェーデンの曲を加え、A. Bain と A. Moller がそれぞれの国の音楽性を共有し、共演したもの。2007 作。Whirlie)
- *DUNCAN CHISHOLM: Live At Celtic Connections C
(2013 年の Celtic Connections のライヴ。会場は Kelvingrove Art Gallery。今日、スコットランドの泣きのフイドルでは彼の右に出る者はいない。ソで、デュオで、グループで、会場のアート・ギャラリーの展示物に負けないうスコティッシュ・ムードの音の絵を描く。スコティッシュ・トラッドの7ビ7ビのフレーズがふんだんに盛り込まれた極上の演奏は、すっかり極楽気分。一緒に音の絵を描く共演者は、Jarlath Henderson {イリッシュ・パイプス}, Allan Henderson {フイドル、ピアノ} Matheu Watson {ギター}, Martin O' Neill {バウロン}, Ross Hamilton {ベース}。Copperfish)
- *KRIS DREVER: Black Water And Live C
(K. Drever の 2006 年のデビュー作 {全曲ミックスをやり直している} とグラスゴーの Old Fruitmarket での 2008 年のライヴ {12 曲収録} の 2 枚組 CD。ライヴは、Karen Matheson, Heidi Talbot, John McCusker, Ian Carr, Ewan Vernal, Andy Seward, Donald Shaw, Andy Cutting, Donald Hay, Roddy Wooble と豪華な顔ぶれ。もちろん新しいパッケージとブックレット。2007/2012 作。Reveal)
- *THE PAUL McKENNA BAND: Between Two Worlds A
(この若手バンドは最高。リーダーでヴォーカルの P. McKenna のヴォーカルが絶品で、心に沁みるし、加えて、P. McKenna のギター、David McNee のベース、Sean Gray のフルート&ホイッスル、Ewan Baird のバウロンそして屈指の若手フイドル奏者の Ruairidh Macmillan のフイドルによるセッションする演奏のワクワク度はもの凄い。2009 作。Greentrax)
- *DUNCAN WOOD & GUESTS: Swarbricks B
(本作のアイデアは Cathal McConnell と Duncan Wood が Swarb と Edinburgh Folk Club で共演したことに始まる。全曲 Swarb 作曲の曲で全 17 トラック収録。マンﾄﾞリン、マンﾄﾞーラ、フイドル、ヴォーカル、バウロン等を演奏する Duncan は、Swarb の曲は完成されていて、簡単には編曲不可能と判断し、じゃあセッションで作ろう！ということになって、Cathal McConnell {フルート、ホイッスル}、Martin McDonald {ギター、ベース}、Gavin Sutherland {ギター}、Maureen Hunter {ハープ} の仲間とフォーカ・クラブで

セッションするように作ってしまったのが本作。これが功を奏して、まるで Boys Of The Lough のようなスコティッシュ・トラッドっぽい音楽に自然変化。ギター系楽器が多い分、音楽の粒立ちが良く、軽やかで優雅に響いている。聴いてすぐに Swarb の曲とわかる人はよほどの Swarbマニア!? 2013 作。Beaechwood)

*ALASDAIR ROBERTS & FRIENDS: A Wonder Working Stone B
(Dougie MacLean と活動を共にしていた Andy Roberts の息子、Alasdair の本作は、70 年代ブリティッシュ・フォークの香りがプンプン。不思議な懐かしい感じの音楽。2013 作。Drag City)

*ALASDAIR MacIILeBHAIN: Las B
(別名 Alasdair Whyte。スコットランドのガール・ソングのコンテスト優勝者 Alasdair のデビュー作は、野郎ながら何とも美しいガール・ソング・アルバム。Alasdair のオリジナル曲が半数の本作だが、唄のストーリーは伝統歌集的。柔和なシンキングの感じが、僕の大好きな Arthur Cormack に似ていて、病みつき。2012 作。Watercolour)

*MACMASTER・HAY: Hook B
(Sileas の Mary Macmaster と打楽器奏者の Donald Hay の 2 枚目。ハーブの音楽、スコティッシュ・ミュージックの最前線の音楽。驚くのは Mary のシンキングの素晴らしさ。特にタイトル曲“Hook” [Waulking Song] でのシンキングの魔性的ムードはドキドキとってしまう。2012 作。MDMC)

*KARINE POLWART: This Earthly Spell A
(2008 作。Hegri Music)

*LIONEL McCLELLAND: To Wyle Us Hame B
(2010 年 9 月、心不全で亡くなったスコットランドを代表するフォーク・シンガーの L. McClelland の亡くなる前に収録を終えていた。スコットランド語のシンガーであり、ストーリーテラーであり俳優だった Lionel は、“The Complete Songs Of Robert Burns”のシリーズの制作に情熱を傾けたことでも知られる。本作に収められた Lionel の唄は温もりの感じられる穏やかな自作作曲中心の唄。w. Pete Clark, Marc Duff, Aaron Jones, Paul McKenna, Rod Paterson, etc. スコットランド音楽の重要作。2012 作。Actually Productions)

*KRIS DREVER, EAMONN COYNE AND MEGAN HENDERSON
: Kris Drever, Eamonn Coyne And Megan Henderson ¥1280
(Lau のメンバーでフォーク・シンガーの Kris Drever と仲間によるリラックス・ムードの中にもピリッとハリのある Kris の唄 3 曲とバンジョー、ギター、フイドルによるセッション 2 曲。Kris がうたう“Parcel Of Rogues” [Trad], “Wild Hurricane” [Sandy Wright] / “Lament For Glencoe” [Trad], “Shady Grove” [Trad] の 3 トラックは、もう抜群。2012 作。Reveal)

*SIMON CHADWICK: Old Gaelic Laments C
(本作は 15 世紀の金属弦ハーブ [クラムハ] クイーン・マリー・ハーブの復元ハーブによる 16~18 世紀の哀悼歌集。Simon の演奏は普段聴くスコットランドのハーブともアイルランドのハーブとも趣を異にしている。Simon の演奏はいにしえの宗教的な音楽の世界に身を委ね、その陶酔の中で、最上の美しい音色を爪弾いているのよう。色彩感のあるリズムの連なりが不思議なメロディーを創り出している。2012 作。Early Gaelic Harp)

*SKETCH: Shed Life B

(一瞬 Martin Bennet!?とってしまう冒険心旺盛なスコティッシュ・ミュージック。しかし音楽のコンセプトはハイランド地方の農閑期のダンス音楽。バンドメンバーはスコティッシュ・シンガーの Maeve Mackinnon にフィドルの Neil Ewart, パイプ、ホイッスルの Steven Blake, ギターの Chris Waite, パーカッション、プログラミングの Iain Copeland。スリリングなスコティッシュ・ダンス&ディスコサウンドの嵐の中 Maeve は神がかってスコティッシュ・ゲール語でシンキングする。免疫力のないスコティッシュ・トラッド・ファンには危険な音楽。でも力は最高!ゲスト: Ross Ainslie, John Spiers。2012 作。Skye)

- *PATSY REID: Bringing The Gap A
(スコティッシュ・フィドル奏者 P. Reid の 2008 年作。w. Mhairi Hall, Aidan O'Rourke, Anna Wendy Stevenson, etc. Vertical)
- *JENNA REID: Morning Moon B
(過去、シェトランドの Filska、スカイ島の Dochas そして Deaf Shepherd のフィドラーとして活動したシェトランド・フィドラーの Jenna の本作は、シェトランド・フィドルから広くスコットランド・フィドルそして海を渡ってケーブ・ブレットン・フィドルとフィドル・ミュージックの幅を広げてきた Jenna の音楽を盛り込んだ作品。w. Kevin Mackenzie, Bethany Reid, Kathleen Boyle, Olov Johansson, etc. 2012 作。Lofoten)
- *JENNA AND BETHANY REID: Escape B
(第二次世界大戦下に北海で起こったある楽器制作者の逃避劇の物語の一場面一場面をシェトランドの若手随一のフィドラーの Jenna Reid と妹の Bethany [フィドル&ピアノ] が作曲し、二人で演奏した音楽。音楽はいわばシェトランドの伝統音楽を中心に据えた創作音楽で、緩急自在でイメージ豊富な音楽を含め Gattiona McKay&Chris Stout の高潔な音楽世界に通じるし、肩を並べている。2010 作。Lofoten)
- *THE SCOVILLE UNITS: The Scoville Units a
(注目すべきスーパー・ケルティック・ブルーグラス・バンド。メンバーは Flook の Ed Boyd に Show Of Hands の Miranda Sykes, Daily Planet の Leon Hunt, Josh Clark, Rex Preston そして紅一点の Gina Griffin。面白いのは Leon Hunt のセックス抜群の即興的なパソジョー。これと精鋭ケルティック・サウンドとのミックスがメチャ新鮮。好きにセッションする中で、伝統歌やダンス曲を魔法のようにとびつきりフレッシュで、オリジナルなアコースティック・ミュージックへと変幻させる。心ゆく気分爽快! 加えて、3 曲で愛らしいヴォーカルを披露する Gina の唄も素敵。2010 作。Get Real)
- *RURA: Break It Up a
(スコットランドから飛び出した 2011 年の“The MG Alba Scots Trad Music Awards”授賞の若きトラッド野郎達のどでかいデビュー作だ。彼らはデビュー作にして、ヴァンサン・スコティッシュ・バンドの風格。堂々として、気高く優艶な演唱を長々と聴かせたかと思えば、終盤、バグパイプ、ギター、フィドル、フルート、バウロン等がエレクトリック・ミュージックに絡み合い、舞い上がる。その、スコティッシュ・スピリット溢れるグルーブは凄い。2012 作。Greentrax)
- *ALISTAIR OGILVY: Leaves Sae Green A
(若き男性トラッド・シンガーのデビュー作。Alistair のシンキングは、Dick Gaughan のシンキングを正調スコティッシュ・トラッド節と位置づければ、正調。スコットランドの伝統歌を中心に Andy M. Stewart や Davy Steele 等の曲を伸び伸びとシンキングする。その健やかな唄が気持ち良い。w.

Steven Polwart, Aly Macrae, Inge Thompson. Produced by Mattie Foulds. 2012 作。Greenrux)

*BRUCE MacGREGOR AND CHRISTINE HANSON

:Kissin' Is The Best Of A' B

(Brazin' Fiddles のフィドル奏者の B. MacGregor と大西洋を挟んで活動するマルチ音楽対応チェロ奏者の C. Hanson とのコラボ)。Bruce のハイランド色濃厚な多彩なフィドルに Christine のチェロが深い情感を加える。演奏者の心はスコットランドで何百年も伝承されてきた音楽への深い愛情に満ちている。Tim Edey, Brian McAlpine. 2011 作。Brechin All)

*JOANNE McIVER & CHRISTOPHE SAUNIERE: The Cannie Hour A

(スコットランドのガール・シンガーの J. McIver とブルターニュのケルティック・ハーブ奏者の C. Saunier のデュオアルバム。全曲、ヴォーカルの Joanne の自作曲なのだが、伝説や妖精物語やお化けの話などにインスピレーションを得たトラッド風のスコットランドのゲール語と英語混在の唄で、トラッド・シンガーとして、また魅惑の不可思議 SSW としての、両方の魅力を持ち合わせている。2011 作。Buda)

*COAST: The Turning Stone B

(これは Wolfstone クラスのフォーク・ロック・バンド。いや Wolfstone より底力がある。むしろ Runrig に近いかも。ヴォーカルの Paul Eastham はスコティッシュ・フォーク・ロック・バンドのヴォーカルとして凄く魅力的。音ゲスト: Duncan Chisholm. 2011 作。Ruabhal)

*JIM MALCOLM: Acquaintance C

(Robert Burns 集。2007 作。Beltane)

*EAMON DOORLEY, MUIREANN NIC AMHLAOIDH,

JULIE FOWLIS, ROSS MARTIN: Dual A

(Dochas のシンガーで屈指のガール・シンガーの Julie Fowlis と Danu のシンガーで屈指のゲール・シンガーの Muireann の、スコットランドとアイルランドの二人の歌姫の競演アルバム。2008 作。Machair)

*BRIAN O hEADHRA: An t-Allt B

(アイルランド・ダブリン出身で元 Anam の Brian のソロ。タイトルは「流れ」の意。現在はスコットランドのインヴァネス在住で、奥様は Mackenzie 三姉妹の Fiona。スコットランド・ゲールとアイルランド・ゲールの唄が 9 曲で英語の唄が 3 曲。深い森のふかふかした落ち葉のような唄だ。w. Fiona Mackenzie, Sandy Brechin, Chris Agnew, Richard Werner, Louisa Rafferty, Pat McGarvey. 2011 作。Brechin All)

*MATHEU WATSON: Matheu Watson C

(録音時 20 歳の天才的フィドル&ギター系楽器奏者の鮮烈なデビュー作。Matheu は 2009 年に "Best Up And Coming Musician" 賞に、2010 年に彼が在籍する Fred Morrison Trio が "Best Folk Band" 賞にノミネート。2010 作。SEE001)

*URACHADH B

(北西ハイランドの人々の物語や歴史や音楽をテーマにした音楽。James Graham {ヴォーカル}, Catriona MacLeod {ヴォーカル、アコ、ホイッスル}, James Ross {ピアノ}, Carol-Anne Mackay {各種バグパイプ、ホイッスル、アコ、ヴォーカル}, Rhona Sutherland {フィドル、ギター、ブズーキ} の編成で、James と Catriona と Carol のガール・ソングを中心にグループとしてゆるやかな

連帯感を保ち、伝統歌と伝統音楽のバランスが取れ、ハイランドのトラッド音楽として味わいが深い。2010 作。Urachadh)

*ALEX HODGSON: Jeelie Jars 'n' Coalie Backies B

(A. Hodgson は大衆の人気者の SSW で、伝統歌もうたうスコティッシュ・フォーク・シンガー。その音楽は純粹にスコットランドのトラッドを志向するものではなく、大衆性のあるコンテンポラリー・フォーク。w. Kenny Hutchison, David Paton, James Mackintosh, Calais Brown, Kevin McGuire, etc. 2010 作。Greentrax)

*GABE McVARISH: Eclection B

(現在 Daimh のメンバーで、数々の著名バンドのレコーディングに参加し、現在フィドルの教師としても多忙なフィドラー、Gabe のソロ。スコットランドの曲を中心にアイルッシュやケープ・ブレトンの曲を古いスタイル、新しいスタイル、先鋭的なスタイル等を使い分け、緩急自在に演奏してしまう小器用さは天才的。2010 作。Greentrax)

*IVAN DREVER: Notes From An Island C

(Lau の Kris Drever のお父さんで元 Wolfstone のヴォーカルの Ivan の本作は、彼自身の歴史を振り返る回顧的内容で、オーケストラへの思いや家族への思いが綴られた唄達が穏やかな風のように流れる。Ivan の歌唱は滋味豊かで、どの唄も優しさが深い。ブックレットにはピア色化したつつある家族写真が十数枚掲載されている。2010 作。Attic)

*CALUM MARTIN: An Dealachadh C

(Lewis 島のスコットランドのゲール語シンガーの C. Martin の本作は Runrig を想起させるスコットランドの薫り立つ潔いフォーク・ロック。これが実にかっこいいのだ。かっこいいだけではない。Isobel Ann Martin と Catherine Joan Martin の女性シンガーの唄がフィーチャーされた唄など女性ガール・ロック・シンガー特有の哀愁漂う優美な美しさを湛えていて、すっかり夢見気分。2010 作。Ridge)

*SIMON BRADLEY・LUKE PLUMP: Wintering Out C

(アイルランド系イリス人アイルッシュ・フィドラーの S. Bradley とヌメニア島出身で Shooglenifty と Fine Friday のベース奏者の L. Plump のアイルッシュをメインにしたアイルランド～スコットランド～アストurias を繋ぐ心と魂が響き合う素晴らしい音楽。2004 作。Shoogle)

*SKIPINNISH CEILIDH HOUSE "The Scottish Music Show" C

(スコットランドのカーリー・ハウスでのライブ。Rachel Walker {2 曲}, Mary Catherine MacNeill {"Fear a' Bhata" 他全 4 曲}, Angus MacColl, Archie MaAllister, Scot Wilson, Skipinnish, Sconaidh MacIntyre, Eilean Scalpaigh na Hearadh による全 13 トラック。2009 作。Skipinnish)

*CHRISTINE PRIMROSE ・ BRIAN O HEADHRA: An Turas B

(名実共に最高のガール・ロック・シンガーの C. Primrose とダブリン出身でアイルランドのゲール語を学んだ Anam のシンガー&ギター奏者の Brian とのスコットランドのガール・ロック・ソングとアイルランドのガール・ロック・ソングの謙虚でスピリットの高いトラック・アルバム。歌詞原詩&歌詞英訳付。2003 作。Anam Music)

*KEN CAMPBELL'S IDEAL BAND: Ken Campbell's Ideal Band B

(1980 年代に活躍したフォーク・ロック・バンドの Ideal Band の再結成アルバム。メンバーは Ken Campbell {ヴォーカル、12 弦ギター、リュート、ノーサンブリアン・パイプス}、

- Seylan Baxter {チェロ、ヴォーカル}, Gavin Paterson {キーボード、ギター、ヴォーカル}の女性一名男性二名の計三名。ゲスト: Steve Lawrence, Wendy Weatherby, Hamish Moore。2009 作。Fellside)
- *BRIAN McNEILL: The Baltic Tae Byzantium B
 (副題“Tales Of The Scots In Europe”。ご存知 Battlefield Band の創設メンバーで、マルチ演奏家で、現在 RSAMD の“Scottish Music”部の学部長で、多くの若き音楽家を育てている B. McNeill のソロ。
 w. Dick Gaughan {ヴォーカル、ギター}, Patsy Seddon {ヴォーカル}, Sylvia Barnes {ヴォーカル}, Dominique Dodge {ハーフ}, Lorne MacDougall {ハイランド・パイプス}, etc. 2009 作。Greentrax)
- *CEOLBEG: Cairn Water B
 (Wendy Stewart, Rod Paterson, Gary West, Peter Boond, Colin Paterson, Mike Travis から成るスーパー・スコティッシュ・グループの99年作。Wendy のエレクトリック・ハーフの導入他実験的要素もある当時最前線のスコティッシュ・トラッド。今聴いても圧巻。Greentrax)
- *RACHEL HAIR: The Lucky Smile C
 (アイルランド系スコットランド人ハーフ奏者の R. Hair の2枚目は時折ギター、ベース、ドラムス、パーカッションが入る Catriona McKay 路線を目指す意欲作。Joy Dunlop なる女性シンガーがうたう2曲のガリック・ソングも聴き逃さない。むしろ二人、ヴォーカル&ハーフのデュオで活動して欲しいと思うほどだ。2009 作。March Hair)
- *HAREM SCAREM: Storm In A Teacup C
 (Nuala Kennedy が抜け、Eilidh Shaw, Ross Martin, Sarah McFadyen, Inge Thompson のスコットランドの名うてのトラッド・ミュージシャン4名による Harem Scarem の2008年作。Vertical)
- *HAREM SCAREM: Let Them Eat Fishcake C
 (Eilidh Shaw, Ross Martin, Sarah McFadyen, Inge Thompson, Nuala Kennedy の女性4名と男性1名から成る新進気鋭のスコティッシュ・バンドの2002 作。ゲスト: Kris Drever。Vertical)
- *FACE THE WEST: The Wishing Stone B
 (Wolfstone タイフの Lewis 島の4人組スコティッシュ・フォーク・ロック・バンドの2枚目のよう。Keith Morrison の健やかなヴォーカルと彼らのスコティッシュ・トラッドの匂いを撒き散らす若々しいフォーク・ロックは気分爽快。めちゃ Good! 2008 作。West Studio)
- *THE MARTIN GREEN MACHINE “First Sighting” B
 (Lau のアコ奏者 Martin Green のやりたい放題の実験音楽。ホーダレスな彼の音楽性からある程度想像していたが、やはりジャンル分け困難な実験的でユーモラスでお遊び感覚のクロスオーバー音楽。色彩感豊かで、遊園地音楽とでも言いたい音楽。彼はほつま遊び好きやな。子どものままの感性の音楽家。w. Inge Thomson, Barnaby Stradling, Tom Cook , etc. 2009 作。Navigator)
- *MALINKY: Flower & Iron B
 (Malinky 4 枚目は、ヴォーカル&チェロの Fiona Hunter, ヴォーカル、ブスーキ他の Steve Byrne, ヴォーカル&ホイッスル他の Mark Dunlop, フィドルの Mike Vaas そしてギターの Dave Wood の強カライナップによる三人のシンガーのシンキングが光り、とびっきりのスコティッシュ・サウンドが飛び交う唄、音楽ともに、最

- 高レベルでバランスの取れた傑作だ。2008 作。Greentrax)
- *MALINKY: Last Leave B
(Karine Polwart がヴォーカル。2000 作。Greentrax)
- *MALINKY: Ravens (Karine Polwart がヴォーカル。2002 作。Greentrax) B
- *MARK DUNLOP: Islands On The Moon B
(アイルランドの Antrim 生まれでスコティッシュ・トラッド・バンドの Malinky のシンガー兼ホイッスル&ハープ奏者の M. Dunlop の初ソロ。2008 作。Greentrax)
- *KRIS DREVER・JOHN McCUSKER・RODDY WOOMBLE
: Before The Ruin B
(スコットランドのトラッド・シーン最先端を走る K. Drever と J. McCusker に SSW の R. Wooble のトリオによるびしっとかっこいいフォーク・ロック。w. Heidi Talbot, Norman Blake, Michael McGoldrick, Andy Cutting, Phil Cunningham, Ian Carr, Donal Show, etc. SSWファンも是非。2008 作。Navigator)
- *DONNIE MUNRO: An Turas B
(スコットランド人のアメリカ移民の唄。ガールリック・ソングを含む Donnie の入魂のフォーク・ロック。Runrigファン必聴。2008 作。Greentrax)
- *DONNIE MUNRO: Field Of The Young B
(元 Run Rig のヴォーカルの Donnie の 2003 年のライヴ。David Paton, Chaz Stewart, Dave Stewart 他のバンド編成でまるでもう一つの Run Rig 的スコティッシュ・フォーク・ロックでぐいぐい迫る。全 16 曲。スカ島の宝。2004 作。トイツHypertension)
- *DONNIE MUNRO: Donnie Munro A
(スカ島でのライヴ。Donnie の力強く美味しい唄が詰まった最高の 1 枚。SSWファンも是非！至福保証。2000 作。Vital Spark)
- *A CELEBRATION OF THE MUSIC OF GORDON DUNCAN B
(2005 年 12 月に急逝したハイランド・パイパーの Gordon Duncan の名を冠した基金 [パイプ音楽と若手伝統音楽家支援が目的] 立ち上げコンサートのライヴ CD。出演者は Dougie MacLean, Kris Drever with Eamonn Coyne and Tim Edey, Duncan Chisholm, Maggie MacInnes, Session A9, Jock Duncan, Allan MacDonald Eamonn Coyne and Kris Drever, Ross Ainslie and Ali Hutton, Atholl Highlander's Pipe Band, Jarlath Henderson and Eamonn Coyne and more。CD の売上は基金に。2008 作。Greentrax)
- *EAMONN COYNE&KRIS DREVER: Honk Toot Suite a
(ダブリン出身のタンバリン奏者 Eamonn と Lau のムハでシンガーでセッション・ギターの達人 Kris によるタンバリンとギターの掛け合いをベースにしたハイレベルなコラボレーション。タンバリン音楽の多彩さとマジカな響きが自由な空気感の中で存分に発揮されている。2006 作。Compass)
- *SIMON THOUMIRE・DAVID MILLIGAN: The Big Day In A
(コンサティエール鬼才 S. Thoumire とジャズ・ピアニストの D. Milligan との即興性あるスコティッシュ・ミュージック。スコティッシュ・トラッドの土俵の中で、新種の美しい花を咲かせている。2001 作。Foot Stmpin')
- *ROBIN WILLIAMSON: The Celtic Bard C
(彼独特なハープの弾き語りによる全 18 曲は、ハープの魔法的響きが最大限に活かされていて、他のハープ奏者とは一線を隠した魔法的美

- 意識で貫かれている。2008 作。スウェーデンGason)
- *PEATBOG FAERIES:What Men Deserve To Lose C
(Shooglenifty と肩を並べるスコティッシュ・トラッド 界の豪放な異端児バンド
の Peatbog の 2007 年作。パイプ やフイドルやホイッスルはスコティッシュのメロディーを
高らかにうたい、エキ軍団は熱風で煽る。前人未踏のスコティッシュ・ロックを
体現。横綱級。2007 作。Peatbog)
- *MAIRI SINE CHAIMBEUL:Thall An Loch Aillse A
(女性スコットランドのゲール語シンガーによる名作。w. Mary Ann
Kennedy, Seoras Campbell, Findlay Napier, Hamish Napier, Ali
Hutton, James Graham, Gillebride MacMillan。2007 作。Macmeanmna)
- *DAVY STEELE:Chasing Shadows B
(元 Battlefield の D. Steele の 97 年作。w. Sileas, Dick Gaughan,
Alan Henderson, Brian McAlpine, etc. Hypertension)
- *ALASDAIR WHITE:An Clar Geal C
(空前絶後最高レベルのケルティック・フイドル・アルバム。踊るフイドラーとも呼びた
いほど様々なタイプの民俗性ある音楽を個々のリズムを楽しむように
心と体で演奏する。。w. Aaron Jones, Mike Katz, Ewen McPherson,
Alison Kinnaird, etc. 2006 作。Temple)
- *ROSS KENNEDY:Scottish Voice & Acoustic Guitar B
(元 Tannahill Weavers で Iron Horse の創設メンバーで屈指のスコティッシュ・
ギター奏者でトラッド・シンガーの R. Kennedy の本作はスコティッシュの高貴さと
芳香に充ちた渾身のソロ。2007 作。Greentrax)
- *ORKNEY FOLK "Traditional Music From The Islands" C
(Orkney Folk Festival 25 周年記念に制作された記念盤。全 19ミュージ
シャン・グループによる全 19 曲。Wrigley Sisters, Rory McLeod&Aimee
Leonard, Ivan Drever, etc. 2007 作。Orkney Folk Festival)
- *THE ORKNEY SESSIONS FROM THE AYRE HOTEL A
(全 17トラック。95 作。Attic)
- *HARP HOUSE B
(Edinburgh Harp Festival からのライヴ。スコットランドのハープ奏者中心の
名演奏集。収録順に ParkStickney&Rudiger Oppermann, Kike
Pederson, Crasdant, Karen Marshalsay, Nuria Llopis Areny,
Isobel Mieras, Graiine Hambly, Ann&Charlie Heymann, Calluna,
Ciar, Catriona McKay&Simon Nieminski。2005 作。HarpHouse)
- *GORDON PATTULLO:Fair Play C
(70 年代から活躍するアコーディオン奏者。ダンス曲オンパレード。91 作。Lapwing)
- *JAMES ALEXANDER:The Speyside Fiddler C
(Fochabers Fiddlers のリーダーでフイドラーの J. Alexander のソロ。スコティッ
シュ・フイドルの香り高い純正スコティッシュ・フイドル・アルバム。純粋に土の香りの
するスコティッシュ・フイドルの味わいを味わいたい方への推薦盤。2005 作。
CD-R。Ross)
- *KAREN MATHESON:Downriver B
(w. Donal Lunny, James Grant, Donald Shaw, James Mackintosh,
Ewen Vernal。2005 作。Vertical)
- *SHONA MOONEY:Heartsense A
(2006 年 BBC Scotland の Young Traditional Musician 賞優勝の女性

- スコティッシュ・フォーク奏者のデビュー作。w. Ian Stephenson, David de la Hays, James MacKintosh, Ali Vase. 2006 作。Foot Stompin')
- *SANDY MELDRUM: Scottish Piano Fusion B
(RSAMD の卒業生で天才的ピアノ&ピアノ・アコーディオン奏者のデビュー作。スコティッシュの名手達とアカバティックなセッションを繰り広げる一方で柔らかな曲でのピアノソロのメロのいいしみりとした泣き節も見事でまさに両刀使い。2006 作。Greentrax)
- *DICK GAUGHAN: Redwood Cathedral (98 作。Greentrax) B
- *KATHRYN TICKELL + CORRINA HEWAT: The Sky Didn't Fall C
(ノースパリアン・スモールグループ&フォークの K. Tickell と先進的スコティッシュ・ハーブの Corrina のデュエットはスコットランドとノースパリアントの伝統回帰かつ女性的優美さに包まれた音楽。二人は思い出の曲や馴染み深い曲を慈しむように演奏し、唄う。2006 作。Park)
- *JAMES ROSS: James Ross B
(スコットランドの若手トラッド音楽家の優良養成学校 RSAMD 卒業でその後アイルランドのリムリック大学でピアノを学んだという James のスコットランド音楽と少しのアイルランド音楽のリズムとメロディーを自由に操り、お遊び感覚と夢想感覚を織り交ぜた水玉のように軽やかに弾む自由なピアノの音楽。Produced by Brian McNeil. 2006 作。Greentrax)
- *JIMMY HUTCHISON: Corachree B
(“Scots Songs&Ballads”シリーズ。2000 作。Traditional Beares)
- *ALISON McMORLAND: Cloudberry Day B
(“Scots Songs&Ballads”シリーズ。2000 作。Traditional Beares)
- *ELLEN MITCHELL: On Yonder Lea B
(“Scots Songs&Ballads”シリーズ。2002 作。Traditional Beares)
- *EILIDI MacKENZIE: Eideadh Na Sgeulachd (92 作。Temple) B
- *CHRISTINE PRIMROSE: Gun Sireadh, Gun Iarraidh B
(2001 作。Temple)
- *CLIAIR: Grinn Grinn B
(ガーリック・シンガーの親分 Arthur Cormack ガーリターのガーリック・シンキング・グループの Cliair の 2005 作。Macmeanmna)
- *ARTHUR CORMACK: Nuair Bha Mi Og (92 作。Temple) B
- *STEVIE LAWRENCE: Standing Alone A
(Iron Horse のギター奏者のソング。2002 作。Lochsore)
- *SILEAS: Harpbreakers B
(本作は日本で録音され、キングより 1990 年に発売された後にスコットランドで発売された Sileas の 3 枚目。「かもめの水兵さん」の原曲収録。90 作。Lapwing)
- *WENDY STEWART: Standing Wave (2003 作。Greentrax) A
- *ALEX CAMPBELL: In Copenhagen B
(65 年録音。65/2002 作。Storyville)
- *EWAN MacCOLL: Solo Flight 72/2000 作。Topic) A
- *BELLE STEWART: Queen Among The Heather A
(副題“Scots Traditional Songs And Ballads”。76 年録音。77/98 作。Greentrax)
- *BILLY CONNOLLY'S MUSICAL TOUR OF NEW ZEALAND ¥1500

- 楽しめる見事のデューエットだ。w. Steve Lawrence, Duncan Lyall, Alan Train, etc. 2003 作。Lochshore)
- *ISHBEL MacASKILL:Essentially Ishbel B
(Lewis 島出身のウエラン・ガリック・シンガーの Ishbel の 4 枚目は深くスコットランドの伝承歌に根ざした豊かで美しいガリック・ソング集。歌詞原詩 & 歌詞英訳付。2000 作。Ishbel MacAskill)
- *SHOORMAL:Migrant B
(Joyce McDill, Freda Leask, Donna Smith それぞれのシンガーのウエールがフィーチャーされたシエラントのフォーク・グループ。2003 作。Greentrax)
- *THE LAGGAN:I Am The Common Man B
(ウエラン・トラット・シンガーの Arthur Johnstone がウエールの 4 人組。歌に真っ直ぐなフォーク〜トラット。2002 作。Lochshore)
- *LET SCOTLAND FLOURISH A
(Foot Stompin' 所属アーティストの編集 CD。全 14 曲。Cantrip, Liz Doherty, Corrina Hewat...。2003 作。Foot Stompin')
- *ANDY M. STEWART・MANUS LUNNY:Dublin Lady a
(87 作。Green Linnet)
- *DOMHNALL R MACASGAILL:Gloir An Uain C
(CD-R。副題"Traditional Gaelic Hymns&Psalms"。ガリックによるほぼ無伴奏の祈りの唄。朗々とした唄声は澄んだ空気をも震わす。2 曲の合唱はご詠歌を思い出した...。2001 作。Beracah)
- *JANET RUSSELL&CHRISTINE KYDD:Dancin' Chantin' B
(名盤。94 作。Greentrax)
- *JIM REID:The Better O' A Sang B
(元 Foundry Bar Band でウエラン・トラット・シンガー、J. Reid のトラットを中心にした琴線に触れるスコティッシュ・ソング集。全 19 曲。w. Stuart Duncan, Scott Carnegie. 96 作。Greylag Music)
- *JIM REID:Emfae Dundee B
(ギター、バングォー、コンサティーナ、エレクトロニック・パイプ等全て J. Reid の演奏で、ダンティエの町ことを唄ったもの。朗々とある時はコミカルに...。Jim のワンマン・バンド"The Tha' Ue Ceilidh Band"が大活躍。2001 作。Greylag Music)
- *JENNIFER&HAZEL WRIGLEY:Dancing Fingers A
(オーケー島の Jennifer&Hazel 姉妹のこれが 1 枚目。91 作。Attic)
- *JENNIFER&HAZEL WRIGLEY:The Watch Stone(2 枚目。Attic) A
- *BIRLIN' FIDDLES B
(メンバーは Jennifer Wrigley, Alan Henderson, Julia Legge, Sandy Wright。Foot Stompin')
- *THE ORKNEY SESSIONS A
("From the Ayre Hotel"。毎年 5 月下旬に開かれている「オーケー・フォークフェス」のメイン会場になる Ayre Hotel。その軒下に集うトラット・ミュージシャン達によるセッション・ライブ。全 40 曲。アイルッシュ・パブならぬオーケー・パブの熱気。95 作。Attic)
- *THE EASY CLUB:Chance Or Design B
(85 年作の 2 枚目。オランダ Frea)
- *BOGHALL&BATHGATE CALEDONIA PIPE BAND

- : Inspired In Belfast (2001 作。Monach) A
- *ALBERTA CALEDONIA PIPE BAND: They Took Their Leave A
(2001 作。Monach)
- *FRED MORRISON: The Sound Of The Sun (Lochshore) A
- *THE GAUGERS: No More Forever C
(ヴェテラン・トラッド・バンド“Gaugers”の4枚目。ライブ等彼ら
録音曲の中でも選りすぐりの録音曲を編集し、故 Peter Hall に捧
げたアルバム。2000 作。Sleepytown)
- *ANNE MARTIN: Co. . ? A
(副題“Gaelic Song from the Isle of Skye”。人気盤。w. Fiona
MacKenzie, Sandra MacKay, Iain MacDonald, Malcolm Jones,
Ingrid Henderson, Iain MacFarlane, etc. 98 作。Whitewave)
- *ELSPETH COWIE: Naked Voice A
(Chantan, Seannachie のヴォーカルで“Complete Robert Burns”でもお
馴染みのトラッド・シング - の正にタイトル通りの化粧なしのトラッド集 {1 曲
S. Denny 作“Fotheringay”を含む}。歌詞&解説付。Scotfolk)
- *WORLD LIBRARY OF FOLK&PRIMITIVE MUSIC “Scotland” B
(Compiled&Edited by Alan Lomax。98 作。Rounder)
- *SHEILA STEWART: From The Heart Of The Tradition A
(スコットランドの偉大なトラッド・シンガー - 故 Bella Stewart の娘 Sheila
{1937 年生まれ} のハリーのある孤高のシンガー。全曲無伴奏。“Queen
among the Heather”, “Blackwaterside”, “Glencoe”, “The
Nobleman’s Wedding”等トラッドの重要曲全 20 曲。詳細解説付。2000 作。
Topic)
- *ANNA MURRAY: Out Of The Blue (94 作。Lochshore) A
- *ANNA MURRAY: Into Indigo (96 作。Lochshore) A
- *ANNA MURRAY: Tri Nithlean (99 作。Lochshore) A
- *CALANAIS ¥1680
(ルイス島の古代巨石保存を目的に制作された編集 CD。Sileas, Dougie
Maclean, Phil Cunningham, Anna Murray, Blair Douglas, Martin
Taylor, Mary Smith, Ian Stephen, etc. 95 作。An Lannatair)
- *ROBIN LAING: Imaginary Lines A
(エディンバラ出身のフォーク・シンガー - R. Laing の 4th。w. Ammy Geddes, Brian
McAlpine, Wendy Wethery, etc. 99 作。Greentrax)
- *JEAN REDPATH: Think Of Me A
(心の奥底にまで響くスコティッシュ・ソング集だ。w. Sue Richards {ハーブ}、
Abby Newton {チェロ}、Jay Unger {タイトル}、Jacqueline Schwab {ピアノ}。
全 16 曲。歌詞&曲目解説付。98 作。Jean Redpath)
- *ROBIN WILLIAMSON: Ring Dance A
(Incredible ファン好みの会心の作。98 作。Pig’s Whisker)
- *ROBIN WILLIAMSON: Memories (7 曲入。97 作。Pig’s Whisker) ¥525
- *DANNY KYLE: Heroes And Soft Targets A
(人間味漂う中年フォーク・シンガー - キター&ハルツォーの弾き語りでも和りとさせ
る。SSW 調からトラッド調まで、マイペースで気持ちいい。98 作。Iona)
- *CEOL NA PIOBA-PIOB MHOR B
(副題“A Concert of Piobaireachd from the 1999 Edinburgh

- International Festival”。2000 作。Greentrax)
- *THE WORLD PIPE BAND CHAMPIONSHIPS VOLUME 1 1998 A
(Nonarch)
 - *THE WORLD PIPE BAND CHAMPIONSHIPS VOLUME 2 1998 A
(Nonarch)
 - *SOUTHERN GAEL “Dalewool Auckland&District Pipe Band” A
(ニューゼーランドのパイプ・バンド・チャンピオン。Nonarch)
 - *NORTHERN LIGHTS “Live From The Lemon Tree” A
(Old Blind Dog, Tony McManus, Tannas, Anna Murray, Iron Horse,
Drop The Box, Conterach, Lorelei によるライヴ。1996 作。Lochshore)

[CD/USA {トラッド、アパッチアン他}]

- *SONGS OF CHRISTMAS FROM THE ALAN LOMAX COLLECTIONS D
(お宝発掘。Alan Lomax が英国、アイルランド、イタリア、スペイン、
米国南部、カリブ海地域で収録したクリスマス音楽と宗教音楽。
Bob&Ron Cooper, Ewan MacColl, Seamus Ennis, Sacred Harp
Singers Georgia Sea Island Singers 他による 31 曲。全在庫品ラ
ップ包装なし。1998 作。Rounder)
- *MR. MARTIN SIMPSON & MR. DOM FLEMONS A
: A Selection Of Ever Popular Favourites
(2015 年の秋に Martin Simpson と Carolina Chocolate Drops の創
設メンバーでアメリカン・ソングスターの Dom Flemons がデュオ
を組んで、コンサートを行ったときのライヴ。曲目は米国の白人
黒人の枠を超えた古き良き音楽。Martin ファンが聴けば、Martin
の米国趣味の音楽に大衆性が増したように聞こえて、面白いだ
ろうし、Dom Flemons のファンが聴けば、米国庶民の古き良き娛
楽音楽に品性が備わったように感じられて、新鮮な印象を持つ
だろう。米英の個性派が混ざり合って、ある種異種交配的な面白
さもある米国の古き大衆音楽の世界だ。2016 作。Fledg'ling)
- *DANA LYN & KYLE SANNA: The Great Arc A
(Dana Lyn {フィドル、ヴァイオリン} と Kyle Sanna {ギター} のアイルランド系で
はない二人の才能ある演奏家兼作曲家による耳に新鮮なアイリ
ッシュ。彼らのアイリッシュのベースになる音楽は、Martin
Hayes & Dennis Cahill。Dana は Martin Hayes スタイルのフィド
ルを感性優先で膨らませ、Kyle はアイリッシュにとらわれない独
自のギター演奏で飾る。Dana&Kyle の Martin&Dennis+α の独創性
を加えたアイリッシュ風音楽もすこぶる魅力的。ゲスト: Mick
McAuley。2015 作。Dana Lyn&Kyle Sanna)
- *OLD SALT: Up River Overseas A
(Old Salt は米国人一名、スコットランド人一名、ベルギー人三名、
スウェーデン人一名で二姫四太郎の六人組。核になる音楽は米
国人シンガーでバンジョーとフィドル担当の Dan Wall の音楽性、そ
れはアパラチアン音楽とオールドタイム・ミュージック。Dan
Wall 自身がその系統のシンガーとして、ミュージシャンとして秀
でた才能の持ち主で、他国の音楽仲間の手を借りて、その系統の
音楽の最前線のハイブリッドな音楽を創作していて、お見事。加

えて、ヨーロッパの古風なジブシー音楽のサウンドもご披露。
2016 作。Appel)

- *LINDSAY STRAW: My Mind From Love Being Free A
(ボストンのアイリッシュ・バンドの Ivy Leaf のメンバーで、シンガーでギター&ブズーキ奏者の Lindsay Straw 嬢のソロ。本作はこの約 10 年の間に彼女が熱中して来た英国とアイルランドの伝統歌をギターやブズーキの弾き語りでうたったもので、ブリティッシュ・フォーク風の芳香と清涼さ放つサウンドを伴って、彼女の朝露のように清々しく、まっすぐな唄たちは、心の中にずっとしみ通る。まるで、彼女が初めて伝統歌と出逢ったときの初々しい感動が、そのまま表現されたかのように、一曲一曲が芯が強く、清く、美しい。簡易紙ジャケット 2015 作。Lindsay Straw)
- *GALLOWGLASSES: Mortar Bricks And Lime A
(二枚目が人気の米国サンフランシスコの四人組ケルティック・トラッド・バンド“Gallowglasses”の一枚目。メンバーは、Lee White {ヴォーカル、フィドル}、Donovan Ryan {ヴォーカル、ギター}、Michael McNelly {ブズーキ、マンドリン}そして Molly's Revenge の Mark Boronkay {ギター、マンドリン}。こちら一枚目は Donovan Ryan with Gallowglasses 的内容で、ヴォーカルの Donovan の音楽性、それは Andy Irvine の音楽性と重なり合う。ブズーキをフィーチャーしたサウンドといい、Andy 風のシンギングといい、アイリッシュとフォークの両要素をバランスよくブレンドされていて、円やかで落ち着いた味わいのアイリッシュ風トラッド/フォークを醸成している。最後の“Paddy's Green Shamrock Shore”は Paul Brady 風ですがね。CD 収納型簡易紙ジャケット。2013 作。Gallowglasses)
- *MOLLY'S REVENGE: The Western Shore a
(John Doyle がプロデュースの本格的ケルティック・ミュージック・アルバム。アンサンブルの醍醐味と味わいはアイルランドやスコットランドのトップ・バンドの風格。ダンス曲を中心とした演奏のみならず、2 曲でヴォーカルを取る Moira Smiley のしっとりとした凜としたシンギングが素晴らしい。Paul Brady の名唱でお馴染みの“I Am A Youth Included To Ramble”はトラッド・ファンを骨抜きにする。北米に凄いバンド。2008 作。Molri Music)
- *ALICE GERRARD: Bittersweet A
(かれこれ 40 年以上にわたって、アメリカン・ルーツ音楽の第一線で活動してきた Alice の 10 年ぶりの本作は、全曲自作作曲の深い味わいのある素晴らしい SSW/フォーク・アルバム。体の中から湧き上がるようなリラックスした唄は、いぶし銀のアメリカン・ルーツ・サウンドを伴って、ある時は心に沁み、またある時は心を和らげ、またある時は心をほがらかにさせる。いぶし銀のアメリカン・ルーツ音楽の名品だ。w. Laurie Lewis, Stuart Duncan, Bob Ickes, Bryan Sutton, Todd Phillips, Tom Rozum, etc. 2013 作。Spruce And Maple Music)
- *SARA GREY: Down In Old Dolores A
(一曲目の“Bright Sunny South”米国古謡の世界にどっぷり。ハンジューを弾きながらうたう、この素朴な古謡が何とも渋くて良い味わいなのだ。Sara が長年米国の古謡を収集し続けて生まれた素晴らしい米国古謡の世界。w. Kieron Means {ギター、ヴォーカル}、Ben Paley {フィドル}。曲目解説付。全 15 曲。2014 作。Fellside)

- *MINNIE & THE ILLYWHACKERS:Make Me Yours A
 (アイルランドからご機嫌なオール・アメリカン・ミュージック“ショー”バンドが登場。ユニークなのはウクレレがフィーチャーされていて、古臭いジャズ等でスウィングしていること。ウクレレが音頭を取る中、古っぽいジャズやカントリーやブルースやポピュラー・ミュージック等がほどよく混ざり合った文字通りのゲット・タイム・ミュージック。サウンドのすべてがリズムが楽しく躍るように心地よい。古っぽい音楽の心地よさも最高だが、シガーのMinnieの唄はセピア色の古色を帯びつつも、風に乗るような軽やかな歌声でうっとり。2013作。Rualla)
- *WILLIAM PINT & FELICIA DALE:Blue Divide A
 (Whiskey Is The Life Of Man”で華々しく幕開けするW.Pint{ヴォーカル、ギター、マンドリン}&F.Dale{ヴォーカル、ハーモニカ、ギター、フィドル、ホイッスル}の新譜は、海の生活と海の唄を愛する二人の気持ちが上気した唄と、そんな唄と一体化したケルティック・ロックにばっちり生き写しされている。この喜びに満ちた唄と音楽はもう滅茶苦茶最高。Williamのヴォーカルなんぞは、舌がもつれるのでは？と心配になるほど、うたいまくっている。音楽もノリがよくって、踊りだしたくなってしまうほど。海好きの音楽ファンのみならず、全トラッド・ファンは上昇気流を巻き起こす重層的ケルティック・サウンドに血わき肉おどるに違いない。夏はこれを浴びて、海水浴気分！2013作。Waterbug)
- *PATRICK BALL:The Wood Of Morois B
 (P.Ballが爪弾く金属弦ハーブによるほぼ「ケルト」回帰の本作は、音色の一音一音が細やかで美しく、それぞれの地域の音楽の特性を擁護しつつ、優麗な音色で奏でたこの上なく美しいケルティック・ハーブ・ミュージックアルバムとして結実している。2010作。Celestial Harmony)
- *HANNEKE CASSEL:For Reasons Unseen A
 (ホーストン生まれの米国スコティッシュ・フィドル・チャンピオンでアイルリッシュ・グループのCathie Ryan Bandでも活動するスコティッシュ・フィドル+アイルリッシュ・フィドル+オリジナリティーで一步先を行く美人フィドラーの華のあるケルティック・フィドル・ミュージック。w. Alasdair Fraser, Natalie Haas, Rushad Eggleston, Casey Driessen, Brittany Haas, Keith Murphy, Aoife O' Donovan. 2009作。Hanneke Cassel)
- *EUROPEAN WORLD OF BLUEGRASS 2006 A
 (ヨーロッパと北米のブルーグラス・グループの編集盤。全25曲。2006作。オランダ Strictly Country)
- *ROBIN & LINDA WILLIAMS:Live In Holland A
 (92作。オランダ Strictly Country)
- *SKYLAND:Moon Over The Water(2003作。オランダ Strictly Country)
- *CONNIE DOVER:The Border Of Heaven(2000作。Taylor Park) A
- *RACHEL HARRINGTON:The Bootlegge's Daughter A
 (2008年作の“City Of Refuge”が好評のRachelの2007年作のデビュー作。Rachelは不思議な物語や彼女が住むオゴン周辺の田舎生活を送る彼女の個人的な唄などを古い伝承歌を口づさむように淡々と唄う。音楽性は様々だが、自身の足場に立脚し、時代を縦に眺めた田舎娘らしい天真爛漫な音楽が楽しい。2007作。Skinnydennis)
- *KELLY CARMICHAEL:Queen Fareena A

(古き良きアメリカン・ミュージックの世界へと誘うくすぐったいほど馬鹿馬鹿しく愉快的な音楽。バンジョーやギターを爪弾きうたう Kelly の頭の中はラグタイムや古いデルタ・ブルースやストリング・バンドのブルースやデキシー等が鳴り響いているに違いない。まるで 18 世紀か 19 世紀のミシシッピ川を遊覧する豪華客船の娯楽バンド。古き良きアメリカン・ミュージックの最高“お笑い”傑作。2008 作。Dogstreet)

- *TODD MENTON:Where Will You Land a
(元 Boiled In Lead の T. Menton の 2003 年作。アメリカン・フォークであろうが、ブリティッシュ・トラッドであろうが、アイルッシュであろうが、シー・シャンテであろうが、向かう姿勢が根源的。アパラチアの山奥に引き込んだと思いきや今度はハワフルなフォーク・ロックで歓喜させる。2003 作。New Folk)
- *LEHTO & WRIGHT:The Thrashing Machine a
(Lehto&Wright の二人組。アコースティックとエレクトリックが混在しているが、沸き上がる香りはヴォーカルを含めて気高いブリティッシュ・トラッド。Richard Thompson や Dick Gaughan や Christy Moore のレパートリーやトラッドを毅然とカッコ良く演唱する。Lehto はエレキ・ギターもカッコイイがアコースティック・ギターも素晴らしい。完璧に二人の思い入れの強い憧れのブリティッシュ・トラッド的美意識で律せられている。2007 作? New Folk)
- *LAURA MacKENZIE:Evidence A
(アイルッシュ・フルトを中心に各種バグパイプを演奏し、ゲリラックを含む唄もうたう Laura の本作はアイルッシュを中心にスコティッシュそしてフルトニ等カト圏の唄と音楽を共演者をとっかえひっかえ演唱する。共演者は Altan の Daithi Sproule {ギター、ヴォーカル}, Dean Magraw {ギター}, Andrea Stern {ハープ}, Dick Ree {アコ}, John Wright {ベース}, Sean Egan {クラリネット}。2003 作。New Folk)
- *GOLDEN BOUGH:Far From Home (Golden Bough Music) A
*GOLDEN BOUGH:Live B
(25 周年記念ライヴ。全 14 トラック。2006 作。ARC Music)
- *JODY MARSHALL:Cottage In The Glen A
(Magical Strings のような身を清められるようなケルティック・アンサンブルからタフなミミックなケルティック・アンサンブル。Jody の H. ダルマーはうたいおどる。共演者は Grace Griffith, Amy White, Al Petteway, Karen Ashbrook, Zan MacLeod, etc. 2007 作。Maggie's Music)
- *JEAN RITCHIE:Field Trip A
(1954 年作の再発 CD。全 21 曲。54/2001 作。Greenhays)
- *SYLVIA HEROLD&EUPHONIA:Lovely Nancy A
(Wake The Dead のヴォーカルでウエラン・トラッド・シンガーの 3 枚目。Euphonia のメンバー 3 人の内二人は Wake The Dead のメンバーで Wake のホースの Danny Carnahan も数曲でデュエットでお手伝い Sylvia の姿勢はよりシンガーとして伝承歌の本質に迫る真摯なもので一曲一曲が心に迫るもの。2005 作。S. Herold)
- *MAGICAL STRINGS:Where Dragons Dance ¥500
(結成 25 周年の Magical Strings の本作は彼等の集大成的であると同時に新たな地平を予感させる音楽。Grainne Hambly や Liam O'Flynn や Mary Bergin 等のアイルッシュ・ダンス曲やブラスケット島のアイルッシュ・アコ等アイルッシュをベースにマダガスカルのアリをフィーチャーした異国情緒な音

樂に加え、中国風味のタイトル曲とモンゴルの曲“Gandii Mod”等も。CD-ROM 機能では“25 Years of Family, Friends, Loving&Sharing”と題が付され、アイルランドの島でのスナップ写真を中心に故 Derek Bell との写真や家族の写真が閲覧できる。2004 作。Alula)

- *MAGICAL STRINGS: Legend Of Inishcahey A
(西アイルランドの音楽にインスピレーションを得た Magical 独特なケルティック・ミュージックの世界。99 作。Magic Hill Music)
- *KEN KOLODNER: Journey To The Heartland A
(ヴァイオリン・ハンマー・ダルム奏者によるアパラチア&オールドタイムからケック&ケー・ブルトンそしてスコットランドまで姉妹音楽の旅。自分のルーツの視点から姉妹音楽に全身全霊でアプローチしてるのが偉い。w. Robin Bullock, Laura Risk, Elke Baker, Paddy League。2005 作。Maggie's Music)
- *DEBRA COWAN: The Long Grey Line B
(彼女のシンギングは Ray Fisher, Gordeanna McCulloch, Christine Kydd 仕込み。主にイングランド、スコットランド、アイルランドのトラッドを澄んだ美声と情緒あるアコースティック・サウンドで酔わせる。2001 作。Debra Cowan)
- *BOILED IN LEAD: Alloy ¥2980
(希少録音曲を含む Boiled In Lead の 15 年の歴史をまとめた 1000 枚限定ハード・ボックス入 3 枚組 CD。内 1 枚はライヴ。全 48 曲。ボックスに 1000 枚の内の何枚目かの番号が打たれている。98 作。Omnium)

[DVD/CANADA] NTSC all regions

※国内製 DVD プレーヤーで再生可能

- *ASHLEY MacISAAC: Live At The Rehearsal Hall B
(Ashley MacIsaac&band によるスタジオ・ライヴ。ロック・バンドを従えての血沸き肉おどるライヴ。圧巻。2002 年 5 月収録。57 分。Linus)

[CD+DVD/CANADA (Celtic)] PAL all regions

- *LOREENA McKENITT: Nights From The Alhambra ¥2980
(2006 年 9 月スペインのアルハンブラの宮殿でのライヴ。2 枚組 CD と 1 DVD のセット。CD は DVD のオーディオ版。全 18トラックで DVD は 140 分。w. Nigel Eaton, Brian Hughes, Steafan Hanningan, Hugh Marsh, Panos Dimtrakopoulos, Sokratis Sinopoulos, Haig Yarzdzian, etc. 2007 作。Quinlan Road)

[CD/CANADA (トラッド他)]

- *HIBERNIA: Wide Water C
(スリムケースの CDR 仕様。Hibernia は、カナダで開かれたシャンノースのコンテストで優勝{2012 年}したというアイリッシュ系トラッド・シンガーの Ellen MacIsaac とケルティック・ハープ奏者の Susan Toman の女性二人組。Ellen のゲール語のシンギングは美しく、孤高で、明快で、有名・無名曲を問わず、聴き手をゲーリック・ソングの魅力的な世界へと誘う。どちらかと言えば、素朴なハープの伴奏が功を奏して、Ellen のシンギングやリルティングはケルティックに美しく生えている。二人の音楽から感じられるケルティックな味わいとある種の親しみやすさは、おそらく二人がカ

ナダ人であることに起因してのことだろう。全 14 曲。CDR 仕様でなければ、ベスト・アルバム級。2017 作。Hibernia)

- *FASTA:Un Canadien Errant B
(カナダの“Traditional Singer of the Year”賞受賞のケベックの女性トラッド・シンガーでフィドラーの Sophie Lavoie とケベックのギタリストの André Marchand とコネマラ出身のアイランド人イリアン・パイプス & バンジョー奏者の Fiachra O’Regan のトリオ。ケベックのトラッドとアイリッシュが混ざり合った音楽の意外に新鮮で爽快なこと！Sophie のシンギングとフィドルはケベック・トラッドの伝統の味わいを披露しつつも、音楽はアイリッシュのノリを混ぜ合わせていて、凄く魅力的で心に響いて、楽しめる音楽。2016 作。Fasta)
- *TICKLE HARBOUR:Battery Included A
(Tickle Harbour の創設者は Red Island の創設者でギタリストの Don Walsh で、Tickle Harbour でヴァーナル、ギター、バウロン、コンサティナ他を担当する Fergus O’Byrne は元 Ryan’s Fancy。二人を除いた他のメンバーは Vonnie Barron {ヴァーナル}、Patrick Moran {フィドル}、Gerry Strong {ティン・ホイッスル、フルート}、Francesca Swann {チェロ}。驚くのは曲の多数を占める各種ダンス曲の演奏の素晴らしさだ。Chieftainスタイルだが、演奏力が卓越している上に、音楽のエネルギーはパフォーマンスの高さをキープしている。ゲスト:Seamus Creagh, Paddy Keenan 他。1998 年。Singsong)
- *LE VENT DU NORD:Tetu B
(ケベックのトラッド・バンドの Le Vent Du Nord の通算八枚目に当たる新作。これまでもそうだったが、Le Vent は 4 人編成 {楽器編成はギター、ブラス、ハーモニカ、アコ、ベース、ボンバルド、フィドル、マンドリン他} で固め、ケベック・トラッドのルーツの音楽を固持し、ケベック・トラッド特有のダンス音楽のリズムを最大限に生かし、活気ある今日のケベック・トラッドを創作する。ダンスのリズムに乗ってうたわれる唄の数々はケベック・トラッドの独特な味わいを発散する。2015 作。Borealis)
- *WENDY MacISAAC:Off the Floor C
(ケベック・ブルトンのフィドルの名手の Wendy MacIsaac のおよそ 10 年ぶりの新作。Tracey Dares MacNeill {ピアノ} と Patrick Gillis {ギター} を誘って、ライブ録音盤を出そうと録音を始めたのが、2005 年。この年に録音したのが最初の 5 トラック。そしてそれから 9 年後に二人を誘ってまた録音。滅茶苦茶凄い。皆さん、カナダの東の端まで行かずとも、ケベック・ブルトンの音楽が疑似体験できますよ。2014 作。Wendy MacIsaac)
- *MARY JANE LAMOND:Suas E! (1997 作。カナダ A&M) A
- *LE REVE DU DIABLE:Delires Et Des Reels A
(79 年作の 3 枚目。彼等のケベック・トラッド色濃厚な土臭い演唱は今聴いても鮮烈。ケベック・トラッドの模範。79 作。Tamanoir)
- *LOREENA McKENNITT:Elemental A
(リマスターマルチメディア機能付 CD と DVD の 2 枚組。限定盤。85/2004 作。Quinlan Road)
- *LOREENA McKENNITT:Parallel Dreams A

- (リマスターマルチメディア機能付 CD と DVD の 2 枚組。限定盤。89/2004 作。
Quinlan Road)
- *LOREENA McKENNITT:The Visit A
(リマスターマルチメディア機能付 CD と DVD の 2 枚組。限定盤。91/2004 作。
Quinlan Road)
- ※DVD は国内プレイヤー再生可能。
- *LOREENA McKENNITT:Winter Garden a
(5 曲入 CD シングル。95 作。Quinlan Road)
- *ANDREA CAPEZZUOLI E COMPAGNIA:Suonato Coi Piedi! C
(イタリアのケック・トラット・バンド。La Bottine Souriante や Le Vent Du
Nord とも交流のある本格派だ。2008 作。FolkClub Ethnosuoni)
- *THE BARRA MacNEILS:Christmas Album A
(軽快なジグで幕開ける MacNeils 兄妹バンドによるクリスマス・アルバムは
アイルッシュ〜ケプ・ブレトンの伝統音楽色を色濃く打ち出しつつ、クリスマスを
家族兄弟で祝う優しさと楽しさ溢れるもの。ゲール語のアカラやステッ
プ・ダンスも有り。クリスマスにケプ・ブレトンの伝統音楽一家の楽しいクリスマ
ス・ケリーに迷い込んだ感触。2006 作。Fontana)
- *THE BARRA MacNEILS:Rock In The Stream(89 作。PolyGram) A
- *THE BARRA MacNEILS:Closer To Paradise(93 作。PolyGram) A
- *THE BARRA MacNEILS:The Traditional Album A
(94 作。PolyGram)
- *THE BARRA MacNEILS:The Question(95 作。PolyGram) A
- *THE BARRA MacNEILS:Racket In The Attic A
(2000 作。Barratone)
- *NATALIE MacMASTER:Fit As A Fiddle B
(カナダ盤原盤にて入荷。93 作。カナダ Warner)
- *NATALIE MacMASTER:My Roots Are Showing B
(カナダ盤原盤。98 作。カナダ Warner)
- *NATALIE MacMASTER:In My Hands B
(カナダ盤原盤。99 作。カナダ Warner)
- *NATALIE MacMASTER:No Boundaries(96 作。WEA) B
- *NATALIE MacMASTER:Blueprint(2003 作。Rounder) A
- *PAMELA MORGAN:On A Wing And A Prayer B
(ニューファントランドのトラット・ロック・バンドのヴォーカル、Pamela のたおやかな声。
うっとり…。"Blackwater Side"を含む 11 曲。96 作。A&M)
- *FIGGY DUFF:Weather Out The Storm(3rd。宝物。Amber Music) A
- *FIGGY DUFF:Down Stream(4th。Amber Music) A
(フェアポート・スタイルのニューファントランドのフォーク・ロック・バンドの老舗)
- *KATE AND ANNA McGARRIGLE
:The McGarrigle Christmas Hour A
(Kate&Anna のクリスマス・アルバム。Rufus&Martha Wainwright もほとんどの
メンバーでヴォーカル参加。今昔家族の写真を眺めながら聴こえてくる音
楽は Kate&Anna の家庭的だが、ひと味もふた味も違うクリスマス音楽。
2005 作。Nonesuch)
- *ASHLEY MacISAAC:Close To The Floor(デビュー作。92 作。A&M) A
- *ASHLEY MacISAAC:Hi How Are You Today? A

- (95 作。Ancient Music)
- *ASHLEY MacISAAC: Fine Thank You Very Much A
(96 作。Ancient Music)
- *ASHLEY MacISAAC: Ashley MacIsaac B
(神懸り。絶品。w. Mary Jane Lamond, Lisa MacIsaac, etc. 2002 作。Decca)
- *ASHLEY MacISAAC: Live At The Savoy B
(ケーブ・ブレトン・フィドル・回帰の Ashley のすっぴんフィドル・ライブ。入魂のケーブ・ブレトン・フィドル! 2004 作。Linus)
- *STAN ROGERS: From Coffee House To Concert Hall B
(未発表ライブ集。全 20 曲。99 作。Fogarty's Cove)
- *HART-ROUGE: Jai Fait Un Reve B
(フレンチ・カナディアン・トラッド・バンドの Hart-Rouge の本作ハイテクの機械的な、あるいはロックっぽい、あるいはアフリカンっぽい味付けで挑発的。2001 作。Universal)
- *RAWLINS CROSS: Reel 'n' Roll (93 作。Ground Swell) A
- *RAWLINS CROSS: Living River (96 作。Ground Swell) A
- *RAWLINS CROSS: Celtic Instrumentals (97 作。Ground Swell) A
- *DAVE MacISAAC: Nimble Fingers C
(D. MacIsaac は知る人ぞ知るケーブ・ブレトンのケルティック・ロック・ギターの名手。得意のフェンダーのエレクトリック・ギターのケルティック・ロックとアコースティック・ギター、フィドル、マンドリン、トブラ等によるアコースティック・ケルティック・トラッドの両刀使いで唸らせる。全 19 曲。95 作。Pickin' Productions)
- *RITA&MARY RANKIN: Lantern Burn (デビュー作。宝物。Ingold) C
- *RON HYNES: Face To The Gale A
(Mary Black の名唱で有名な "Sonny's Dream" の作者。"Sonny's Dream" も収録のケルティック・トラッド系 SSW の 97 年作。w. Pamela Morgan, etc. 97 作。EMI)
- *ANITA BEST: Crosshanded A
(民謡研究家でトラッド・シンガー、Anita 女史の無伴奏ソロ。ニューファンドランドの伝承歌集。w. Pamela Morgan。曲目解説付。97 作。Amber)
- *YVES LAMBERT: Les Vacances De Monsieur Lambert A
(La Bottine Souriante のリート・シンガー&ホックス奏者 Yves の懐の深いソロ。傑作。98 作。Mille-Pattes)
- *LES BATINSES: Tripotages (2000 作。Mille-Pattes) A
- *LES REJOUISSANCES C
(2 枚組 CD。70 年代活躍したケベックのトラッド・バンド/フォーク・ミュージシャンによるライブ。Le Reve Du Diable, Alain Lamontagne {彼は約 20 年前当時八王子の姉妹リンを訪れたことがある、ハーモニカを持って}、Quebreizh, Michael Garneau, etc. 77 録音。Tamanoir)

[CD/AUSTRALIA]

- *MARTYN WYNDHAM-READ: Undiscovered Australia C
(1996 作。Musica Pangaea)
- *MARTYN WYNDHAM-READ & NO MAN'S BAND: Back To You C
(2010 作。Wynding Road)

- *MARTYN WYNDHAM-READ:Starlit Skies (2012 作。Wynding Road) C
- *KATE BURKE&RUTH HAZLETON:Swapping Seasons B
 (オーストラリアの女性ヴォーカル・デュオの珠玉の3枚目。2002 作。Kate&Ruth)
- *KATE BURKE & RUTH HAZLETON:Summer's Lonesome Tale B
 (音楽的にはアイルランドとイギリス系フォーク・ミュージックとアメリカのオルト・タイム・ミュージックの要素がスムーズにブレンドされた Kate&Ruth の 2007 作。Paul Brady の名唱でお馴染みの“I Am A Youth That's Inclined To Ramble”や“Barbara Allen”や“The Cookoo”等の伝承歌他全 11 曲。どれも唄の背景の土地のフォーク・ミュージックの土臭さを伴って Kate& Ruth 流にそれぞれ耳に心地よくかつ新鮮。ゲスト:Andy Irvine, Bruce Molsky。2007 作。Tradsville)
- *JEFF LANG:Half Seas Over A
 (オーストラリア人ギター奏者で SSW の J. Lang の本作はアメリカのフォークやブルースの根源へと一心を傾けた謙虚な傑作。集中力ある細心のギターの絶妙さにも心奪われるが、Jeff の物語を語るような唄の間と空気感が素晴らしい。ギターの音も唄も心に沁み渡る。2008 作。Furry)
- *PAUL TURNER:Clear Blue A
 (第一印象は Nick Drake っぽい。Paul の唄は徹底して美しい。光を求めて旅するような唄の世界で、アコースティック・ギターとエレキ・ギターの音色も調べも、彼の唄に相応しく、輝いている。星が一本の木にいっぱい生っているジャケットというジャケット意匠そのままの夢見心地の唄と音楽。至福。2008 作。White Lotus)